いまこそEV・PHEV Vol.2　法人のみなさまへ

岡山県はEVシフトを応援します

2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、世界的に電気自動車（以下EV）にシフトする動きが進んでいます。
岡山県では全国に先駆けてEVシフトに対応した産業と地域の実現を目指しています。

今回のテーマ　EVの充電環境を整える

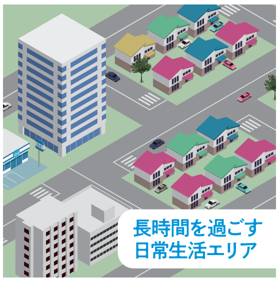
EVの導入は、普通充電設備の導入とセットで検討を！

EVはガソリン車と異なり、充電した電気で走行するため、専用の充電設備が必要です。充電設備には普通充電設備と急速充電設備があり、事務所に設置するなら、場所をとらず比較的安価で設置できる普通充電設備がおすすめです。車両を使用しない夜間等の時間を活用して充電すれば、燃料補給のために外出する必要もなく、運用コストも抑えられます。

充電設備の設置費用の一部を補助します

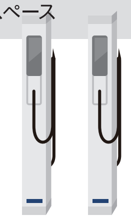
岡山県では、法人等を対象に、県内の公共施設、商業施設、宿泊施設、事務所、マンション等集合住宅などへの普通充電設備や急速充電設備の設置費用の一部を補助しています。詳しい申請方法や条件等はＱＲコードからご確認ください。

【令和４年度】EV充電設備設置補助金について
［申請期限］令和５年２月10日（必着）
※予算の都合で、期限前に申請受付を終了する場合があります。



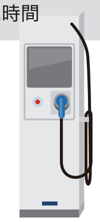
基礎充電
自宅や事業所などでの日常生活における充電

普通充電器
✓導入費用を低く抑えられる
✓小型で省スペース
出力 3～6kW



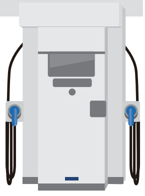
目的地充電
宿泊施設や商業施設などの目的地での充電

普通充電・急速充電器
✓機種によってコストが変動
✓実用的な充電時間
普通充電器 出力3～6kW
急速充電器 出力30kW～



経路充電
目的地に着くまでに足りない分を補う充電

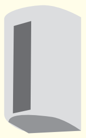
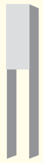
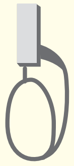
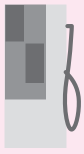
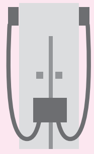
急速充電器
✓導入費用が高め
✓短時間で充電可能
出力 30kW～



※供給能力は機種によって異なります

充電設備の種類

充電設備は、普通充電設備と急速充電設備の2種類に分けられます。
普通充電設備は事務所や自宅、宿泊施設など長時間の駐車が想定される場所、急速充電設備は高速道路のSAやPAなど短時間の充電が求められる場所に設置されています。設備によって本体価格や工事費用に幅があり、設置場所にも留意する必要があります。

	普通充電器				急速充電器	
電力仕様	電源側：交流単相100～200V　車側：交流100～200V				電源側：交流三相200V等　車側：直流450V	
電力出力	3～6kW				30～200kW	
充電器本体	壁面取付タイプ 	スタンドタイプ 	スタンドタイプ	壁面取付タイプ 	1口タイプ 	複数口タイプ 
充電ケーブル	コンセントタイプ（充電ケーブル別）		充電ケーブル付き		充電ケーブル付き	
充電スピード	穏やか（8時間で＋50%程度充電可能）※1				急速（30分で＋50%程度充電可能）※2	
利用シーン	買い物、宿泊、勤務中等（長時間駐車時）				長距離移動の継ぎ足し充電等（短時間駐車時）	
設置場所例	商業施設、宿泊施設、時間貸駐車場、マンション駐車場、事業所駐車場等				高速道路SA・PA、商業施設、カーディーラー等	

※1 充電出力3kW、バッテリー容量50kWの場合 ※2 充電出力50kW、バッテリ容量40kWの場合 ※3 現地の状況により大きく異なります

法人のみなさまへ

充電設備を導入した企業にインタビュー

岡山ガス株式会社 | 総務部　総務グループ　係長　實平 智（さねひら さとる）様

左から、総務部の實平智さんと澤田莉奈さん、エネルギー開発部の風早淳平さん

「脱炭素推進のツールのひとつ」として採用したEVは、「V2B」の導入で非常用電源としても活用できるように

営業車両として使用しているEVを、日々フル充電するための充電器

脱炭素社会の実現も視野に、もしもに備えて電源を多重化

岡山ガスでは、ガスというエネルギーを提供する企業として、地球温暖化防止やそのための脱炭素社会の実現に貢献する使命があると考え、それらに向けたさまざまな取り組みを始めています。

そのひとつが、今年5月に完成させた新本社ビルです。計画段階から、建物の外皮性能を強化する外断熱や「Low-Eガラス」、高効率の空調をはじめとする多様な対策を取り入れたことで、50%以上の省エネを達成し、「BELS（ベルス／建築物省エネルギー性能表示制度）」の「ZEB Ready（ゼブレディ）」を取得しました。

また、インフラ企業の責務として、大きな地震などの災害時にもガスを供給し続けられることを目指し、BCP（事業継続計画）対策を重視しています。

そのため、新本社ビルでは非常用電源の多重化を図るべく、ガスを燃料に発電するコージェネレーションシステムをメインに、ディーゼルエンジンによる発電と太陽光発電、電気自動車のバッテリーから屋内に電気を供給できる「V2B」を導入しました。さらに、電気自動車は普段から営業用車両として使用していますので、短時間で充電が可能な急速充電器も設置しました。

「V2B」で供給できる電力は5kwとほかの発電機に比べて供給量は小さいのですが、新本社ビルの1階と2階に専用コンセントを備えており、もしもの時には携帯電話やタブレット端末などの充電に活用する予定です。

株式会社 湯郷グランドホテル | 代表取締役　峯平晃行（みねひらあきゆき）様

湯郷温泉街のホテル・旅館が協力し、EV充電の相互利用を実現

岡山県北にある美作三湯のひとつ湯郷温泉は、1200年前の平安時代、慈覚大円仁法師が白鷺に導かれ発見したと伝えられる名湯です。夏はホタル、秋冬の雲海など、四季折々の豊かな自然も満喫でき、年間を通して県内外から多くのお客様が訪れています。

私どもの宿『湯郷グランドホテル』と『ポピースプリングス　リゾート＆スパ』には、宿泊客や温泉街の観光客向けに普通充電設備を各1台設置しており、『ポピースプリングス　リゾート＆スパ』には、テスラ専用の充電スタンドも2台あります。導入のきっかけは、約10年前にトヨタ自動車と旅行会社のJTBから「温泉街でEV充電設備を設置しませんか」という提案をいただいたことから。昨今のようなEVシフトが始まる前でしたが、将来を見据えて湯郷温泉街の旅館やホテルが次々と普通充電設備を設置しました。今では、湯郷温泉街の観光案内所を含めて7施設に、合計10台の普通充電設備があり、EVで温泉街に遊びに来られるお客様に利用していただいています。

『ポピースプリングス　リゾート＆スパ』にある普通充電器（左）とアメリカ・テスラ社の普通充電器（右）。当館が県内で初めてテスラ専用の充電器を導入

足湯がある『湯郷グランドホテル』中庭に立つ峯平さん

もし、充電スタンドを1台所有する宿に複数名のお客様から充電希望があった場合は、湯郷温泉旅館協同組合で連携し、貸し出しを行っています。温泉街全体で協力し、相互利用の体制が確立されているのも、旅行者にとって安心ですし、観光地としての強みだと思います。EVでの遠出は、充電インフラの不安が課題として挙げられますが、温泉街や観光地、高速ＳＡ・ＰＡへの設置も着々と進められています。コロナ禍もあって田舎のガソリンスタンドが相次いで閉鎖していることから、今後、地方へのEVの普及と充電インフラの拡充がますます重要になると思います。